

1. 実施機関

慶應義塾大学

2. 企画名

世界の医療を切り拓く君・自我作古

3. 総合評価コメント

受講生の募集・一次選抜では首都圏を中心に全国から多くの応募者を集めていたことに加え、自己財源を活用して多様な受講生を受け入れること等により、受講生が相互に刺激する場を醸成し、企画の国際性・多様性を高めていた点は評価できる。また、大学の強みを生かした外部機関との連携による国際性の付与の取組や、研究倫理へ配慮してカリキュラムの改善を行うなど内容の充実を図りつつ、多角的な教育プログラムを展開していた点も優れている。受講生の評価については、育てたい人材像に照応した評価基準および適切な評価・選抜手法となるよう見直し・改善を進め、また、既存の手法に留まらず AI を使った新しい評価システムの構築を開始している点も評価に値する。

医学を中心に薬学・理学・工学等の領域へ内容を広げ、医学・医療系を重視したプログラムの展開事例として、一つのモデルケースとなる企画といえる。今後、全学的な実施体制の構築による、より多彩な教育プログラムへの企画展開と自立的な継続、および多様な視点からの成果創出、積極的な情報発信等による企画の成果・教育プログラムの社会への普及・展開を期待する。